

第1学年2組 生活科 学習指導案

単元名：ぼく・わたしに、まかせてね！

「じぶんで できるよ」

男子16名 女子19名 計35名

指導者 谷口 緑

単元について

○ 本単元は、小学校学習指導要領生活科の内容(2)「家庭生活を支えている家族のことや自分のできることなどについて考える」を基に構成した。家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分のできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活できるようにすることをねらいとする。

○ 児童は、夏休みの課題として、家でできるお手伝いを考え、お手伝いに取り組んだ日は表に色を塗る活動を行った。殆どの児童は毎日取り組むことができ、保護者から感謝の言葉をもらうことができた。しかし、40%の児童は、家族の声掛けがあつてからお手伝いを行っており、自ら進んで仕事が出来ていないことが明らかになった。また10%の児童は声掛けがあつてもお手伝いに取り組めていない日があり、身の回りのことを殆ど家族にやってもらっている児童もいることが明らかになった。

また児童は2学期の学級活動の時間に係活動や当番活動について振り返り、学校の中で自分の「仕事」に進んで取り組もうとする意欲をもつことができている。道徳科「ぼくのごと」の学習では、お風呂掃除に取り組む登場人物の気持ちを考えることを通して、家族の役に立てると嬉しい気持ちや自分も家族のために働きたいと気持ちをもつことができた児童も多い。

○ 課題設定の段階では、児童に家庭内の殆どの仕事を自分以外の家族にやってもらっていることに気付かせたい。そこで、児童に自分の1日を振り返らせながら家庭にはどんな仕事があるか考えさせ、共有させる。そして、それぞれの仕事を担当している人ごとに色分けをする。色分けをしたことによって、家庭の仕事の内、自分はほんの一部しか仕事をやっていないことや、特定の人に仕事が偏っていることに視覚的に気付き、自分ができることは自分でやり、家族の一員として家族の力になりたいという意欲をもたせる。

情報の収集の段階では、シューズ洗いという家庭の仕事にチャレンジさせ、仕事の大変さに気付かせる。そして、家族に教わったりチャレンジして気付いたりしたことを共有することで仕事をするときの手順やコツを知ることができるようにする。また「じぶんで できるかな?シート」を活用し、自分でできそうだけどやってもらっている仕事を知ることによって「ぼく・わたしにまかせてね週間」で一週間継続できそうな仕事を自分で選択できるようにする。

整理・分析の段階では、「じぶんで できるかな?シート」をもとに「ぼく・わたしにまかせてね週間」で一週間継続する仕事を選ばせ、チャレンジシートを作成し、発表させることでチャレンジ週間への意欲をもたせられるようにする。

まとめ・創造・表現の段階では、一週間家庭で自ら仕事に取り組む活動を通して、頑張ったことや家族から言われたことを共有させる。そうすることで家庭生活を支えている家の人のことが分かり、感謝の気持ちをもつとともに、やりきった達成感から自分のできることは自分でやろうという思いを

もたせる。

振り返りの段階では、単元をとして自分が学んだことや生活の中で変わったことを振り返らせ、家庭内での自分の役割の大切さに気づき、今後に生かそうとする力を身に付けさせる。

単元の目標及び内容について

- 家庭生活を支えている家の人のことや、自分でできることなどに関心をもち、家庭生活における自分の役割を積極的に果たそうとしている。 【関心・意欲・態度】
- 家庭生活にどのような仕事があるかを知り、家族の役割分担と関連付けて、自分なりにお手伝いの内容を考えることができるようにする。 【思考・表現】
- 家庭生活を支えている家の人のが分かるとともに、自分でできることや自分の役割に気付くことができる。 【気づき】

単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
家庭生活を支えている家の人のことや、自分でできることなどに関心をもち、家庭生活における自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとしている。	家庭生活やそれを支えている家の人のこと、自分でできることなどについて、自分なりに考えたり、家庭生活が楽しくなるように工夫したりして、それを振り返って、友達と伝え合っている。	規則正しく、健康に生活することの大切さや、家庭生活を支えている家の人のが分かるとともに、自分でできることや、自分の役割に気付いている。

指導と評価の計画

全7時間

次	時	学習活動	関	思	気	評価基準	評価方法
一	1	課題の設定(2) ○自分の1日の生活を振り返り、学習の見通しを立てる。 ・自分の1日の生活を振り返り、家庭にどのような仕事があるかを知る。	○			自分の1日の生活に関心をもち、家庭にどのような仕事があるか振り返っている。	行動観察 ワークシート
	2	○家の仕事の多くを家族にやってもらっていることに気づき、自分でできることは自分でやろうという意識をもつ。 ・家庭にある仕事を集め、それぞれの仕事をしている人ごとに色分けをする。 ・自分以外の家族がたくさんの仕事をしていることを知る。	○			家の仕事の多くを家族にやってもらっていることに気づき、自分でできることは自分でやろうという意欲をもっている。	行動観察 ワークシート

		[本時]					
		家庭 ○シューズ洗いにチャレンジして、洗った順序や、洗った感想をチャレンジシートに書く。					
二	3	情報の収集（２） ○シューズ洗いにチャレンジし、家族にやってもらっている仕事の大変さを知り、家族に対する感謝の気持ちと仕事をする意欲をもつ。 ・シューズ洗いにチャレンジして思ったことや考えたことを共有し合う。	○		家族にやってもらっている仕事の大変さを知り、家族に対する感謝の気持ちと仕事をする意欲をもっている。	行動観察 ワークシート	
	4	○「じぶんで できるかな？シート」を用いて、1週間毎日お手伝いに取り組むための方法を知る。 ・「じぶんで できるかな？シート」を使って、自分ができると、できないことを分類し、自分が挑戦できそうな仕事を見つける。	○		1週間毎日お手伝いに取り組むための方法を考えている。	行動観察 ワークシート	
三	5	整理・分析（１） ○「じぶんで できるかな？シート」をもとに、自分が一週間を通して取り組みたいことや挑戦したいことを考え、「ぼく・わたしに、まかせてね！！」シートに書いて発表し合う。 ・自分が挑戦できそうな仕事の中から1週間続けて取り組むものを決め、共有する。	○		自分が調べた家の仕事をもとに、自分が取り組みたいことや挑戦したいことを考え、シートに自分が取り組むお手伝いを書き、発表している。	行動観察 ワークシート	
		家庭 ○自分の仕事に取り組む。 ・1週間自分の決めた仕事に取り組む。					
四	6	まとめ・創造・表現（１） ○家庭で取り組んだことを発表し合い、頑張ったことや家族から言われたことをまとめ、伝え合う。 ・友達の発表を聞いて、お互いに気付いたことや感想を発表する。	○		家庭で取り組んだことを発表し合い、頑張ったことや家族から言われたことをまとめ、伝え合っている。	行動観察 ワークシート	
五	7	振り返り（１） ○自らの学びや学び方を振り返り、継続して取り組んでいく意識をもつ。 ・家族の一員として、これから自分が続けて取り組んでいきたいことをカードに書く。	○		自らの学びや学び方を振り返り、継続して取り組んでいく意識をもっている。	行動観察 ワークシート	

本時の学習

(1) 本時の目標

- 家の仕事の多くを家族にやってもらっていることに気付き、自分でできることは自分でやろうという意欲をもつことができる。

(2) 本時の評価規準

- 家の仕事の多くを家族にやってもらっていることに気付き、自分でできることは自分でやろうという意欲をもっている。

【関心・意欲・態度】

(3) 本時の学習展開（2時間目／全7時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 前時を想起し、家庭に様々な仕事があったことを確認する。 ○おうちにはどのようなしごとがありましたか。 ・お皿洗い ・洗濯物 ・夕食の準備 めあて	◇前時に集めた仕事を表にし、仕事に偏りがないようにしておく。 ◇児童の意識と、実態でずれがあることを感じさせるために、どれくらい仕事をしていると感じているかを確認しておく。	
おうちでどのようなしごとを、だれがしているのかをしよう。		
2 ワークシート「いえのしごと みつけたよ」の仕事を、担当している人によって、色で分類する。 3 ペアで気付いたことを共有する。 ○友達のシートと比べて気付いたことはありますか。 □思考の場の工夫 比較する 比較させることで、一番多い色や種類は違うが、自分の色が少ない共通点があることに気付かせる。 ・どちらも自分の色が1番少ない。 ・ぼくの家はお母さんが1番多いけど、隣の人はお母さんが1番多い。 4 全体で共有し、家庭内での自分達の仕事量を知る。 ○一番多い色はどれですか。自分の色と比べて何か気付いたことはありますか。 ・お母さんが1番多い。ぼくはよりも8個も多かった。 ・お母さんが多くて、私とお父さんは	◇ワークシート「いえのしごと みつけたよ」を用い、家庭内の1日の仕事を色で分類させる。 ◇スクリーンで児童のワークシートを拡大し、視覚的に捉えさせる。 ◇色の割合を比較し、黄色が少なく、それ以外の色が多くを占めていて、特定の人に偏っていることに気付かせる。 ◆色の数を書き込んで、一番少ない色がどれか分かるヒントカードを渡す。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p> <p>☆育成したい資質・能力</p>
<p>少なかった。</p> <p>○結果を見て、どう思いましたか。</p> <p>・よるごはんのときにさらはこびをしたいなとおもいました。</p> <p>・お母さんに任せていたから自分でも仕事をやってみたい。</p> <p>5 本時の学習をまとめる。</p> <p>○ワークシートに、今日の学習の振り返りを書きましょう。</p>	<p>◇家族の大変さに気付かせ、自分でできることは自分でやろうという意欲をもたせる。</p>	<p>☆家の仕事の多くを家族にやってもらっていることに気付き、自分でできることは自分でやろうという意識をもつことができている。</p> <p>(行動観察・ワークシート)</p>
<p>6 次時の活動内容を知る。</p>	<p>◇次は、シューズを洗って、自分の仕事を自分でする方法を知ることを伝える。</p>	

★めざす児童の姿

じぶんはすくないのに、おかあさんがたくさんしごとをしていることにきづきました。さらはこびはじぶんでもできそうなので、よるごはんのときにさらはこびをしたいなとおもいました。

板書計画

④ おうちでどのようなしごとを、だれがしているかしろ。

いえのしごと みつけたよ

しごと	だれが	しごと	だれが

⑤ じぶんはすくないのに、おかあさんがたくさんしごとをしていることにきづきました。さらはこびはじぶんでもできそうなので、よるごはんのときにさらはこびをしたいなとおもいました。